

シャントを造設された患者様へ

シャントとは、短絡という意味で動脈から静脈に直接血液を流すことを言います。

1. 閉塞予防

①血流の確認

毎日吻合部のシャント音を聞き拍動を確認してください。以下の場合には医師の診察を受けてください。

- ・拍動が触れにくい、または触れない。
- ・シャント肢の疼痛
- ・シャント肢が冷たい

②血管の圧迫を避ける

以下のことはシャント肢では行なわないで下さい。

- ・シャント肢で血圧を測定しない。
- ・バックや重いものなどを持たない。
- ・袖口のきつい下着、服を避ける。
- ・サポータやリストバンドはゆるいものを使用する。
- ・腕時計をしない。
- ・シャント部をたたいたり、重いものを乗せたりしない。
- ・腕枕をしない。

③採血、点滴はシャント肢で行なわない。

④シャント肢を冷やさない。

2. 感染の予防

①感染の徴候に注意する。

- ・穿刺部周囲に発赤化膿が見られる。
- ・シャント肢の熱感、疼痛がある。
- ・発熱の持続

上記症状があるときは医師の診断を受けてください。

②シャント肢に掻き傷を作らない。

シャント肢からの出血は止血しにくく血管の損傷は大量出血を起こすので吻合部を圧迫して至急診察を受けてください。

③シャント部を清潔に保つ。

3. シャントの発達促進

ゴムボールやグリップを握る。

シャントを持っている患者様が日常生活を送る上で注意したいことは閉塞・感染・出血を予防することです。透析患者様にとって良いシャントがあることは、良い透析をするための最低条件です。シャントの寿命を長く保つためにも適切な自己管理ができるよう異常の早期発見・予防に努めましょう。

